

第6学年 国語科学習指導案

日 時 令和5年11月14日(火) 公開授業 I
 児 童 男子 16名 女子 7名 計 23名
 指導者 菊池 はるひ

1. 単元名 町の未来をえがこう

2. 教材名 「町の幸福論 ―コミュニティデザインを考える―」(東京書籍)

3. 単元の目標

〔知識及び技能〕

・ 文と文の接続の関係、文章の構成や展開について理解することができる。((1) カ)

〔思考力、判断力、表現力等〕

・ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。C (2) ウ

◎ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。C (1) オ

・ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。C (1) カ

〔主体的に学びに向かう力、人間性等〕

・ 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

4. 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
① 文と文の接続の関係、文章の構成や展開について理解している。((1) カ)	① 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。 (C (1) ウ) ② 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C (1) オ) ③ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C (1) カ)	① 進んで、説得力のある述べ方について考え、これまでの学習を想起しながら提案書にまとめようとしている。

5. 単元について

(1) 教材観

本単元の重点指導項目は、学習指導要領における〔思考力、判断力、表現力等〕の「C 読むこと」(1)オ「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること」である。本や新聞等の文章を読む目的は、「書き手の述べたいことを知るために読む」「読み手の知りたいことを調べるために読む」「知的欲求を満たすために読む」「自分の表現に生かすために読む」などがある。本教材は、町の活性化に向けて必要となる考え方について、事例を用いながら、読み手が筆者の主張を理解したり納得したりしやすい構成でまとめられている。また、文章の内容に合った図表が適宜提示されているため、より読み手に分かりやすいものとなっている。本単元では、言語活動に向けて「自分の表現に生かすために読む」ことを目的として本教材を読んでいく。それにより、論の進め方や図表、事例の効果的な使い方について考えを深めることができると思う。

(2) 児童観

児童は説明的な文章を読むことに関して、「事実と考えを区別して読むこと(5年「事実と考えを区別しよう」)」「文章全体の構成を捉えて読むこと(6年「イースター島にはなぜ森林がないのか」)」「文章と図表の関係を捉えること(6年「防災ポスターを作ろう」)」を学習したり、NIEタイムにおいて見出し作りを行ったりすることによって、文章の構造や要旨などの内容を把握する力が高まってきている。しかし、なぜそのような構造になっているのか、どのような事例を用いることで説得力を高めようとしているかなどについて考え精査・解釈する力や、それを受けて自分はどのように説得したいかという考えを形成する力は十分とは言えない。本単元を通して、文章構成や事例の効果的な使用への理解や考えを深め、意図的に活用する力を高めていきたい。

(3) 指導観

つかむ段階では、教材名から町の幸福とは何かを予想したり、これまでの総合的な学習の時間の活動について振り返ったりすることで、町の活性化への関心を高め、「町の未来について考えて提案書を用いたプレゼンテーションをする」という学習の見通しがもてるようにする。

広げる段階では、既習の教材と「町の幸福論」の比較を通して相違点を抽出し、文章の構造や図表の効果的な使用、事例のはたらきなどについて精査・解釈し、理解を深めていく。さらに、理解したことを基に自分達の提案書にまとめることを通して、意図的に読み、活用することができるようにする。

振り返る段階では、実際に二戸市役所公民連携推進課の方にプレゼンテーションを行い、フィードバックを受けることによって、受け手にとって自分達の提案書の構成はどうだったのかを振り返る機会を設ける。

6. 研究との関わり

NIEの視点 ②最新で信頼性の高い情報の中から、必要な情報を取り入れ、考えを深めることができる。
④読む力、書く力が高まり、多様な表現方法が身につく。

研究主題「自分の考えをもち、深め、伝え合う子どもの育成」に向けて、本単元では、NIEの視点②「最新で信頼性の高い情報の中から、必要な情報を取り入れ、考えを深めることができる」及び視点④「読む力、書く力が高まり、多様な表現方法が身につく」学習機会を設ける。

7. 指導と評価の計画

時		ねらい	主な学習活動	評価規準
1 2	つかむ	○「町の幸福」とは何かを考え、筆者の主張に対する初発の感想をもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・題名「町の幸福論」から、町の幸福とは何かを考える。 ・文章の大体の内容を捉え、筆者の主張に対する自分の考えを書く。 	
		○自分たちの町の未来についてプレゼンテーションをすることを知り、単元計画を立てることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間の活動を振り返りながら、これからの町の未来について考え、発信していきたいという思いを高める。 ・提案書にまとめていくことを知り、そのために必要となる力を確認し、学習計画を立てる。 	
3 4	【構造と内容の把握】 取り組む	○文と文の接続の関係に注意して読み、文章の構成や主張と事例の関係を捉えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・指示語や接続詞に着目して読み、序論・本論・結論に当たる部分はどこかを考える。 ・意見を述べるために、本論部でどのような事例を挙げているかを確認する。 	[知識・技能①] 指示語や接続詞に着目し、本文を序論・本論・結論に分け、双括型の文章であることを捉えているかを確認する。 (ワークシート)
5 6	【精査・解釈】 NIEタイム	○意見と事例との結び付きに着目して読み、筆者の論の進め方の工夫を捉えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・考えのどの部分を事例が補強しているのかを明らかにし、筆者が意見に説得力をもたせるためにどのように工夫しているかを考える。 ・自分の表現に生かしたい点を考える。 	[思考・判断・表現①] 「自分の表現に生かす」という目的で文章を読み、文章と図表の結び付け方や筆者の論の進め方についての自分の考えを書いているかを確認する。 (ワークシート)
		NIEの視点④	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事の事例を見付け、書き手の述べたいことの、どの部分を補強しているかを考える。 ・提案書を作成するためには、「自分たちの主張」と「説得力を高めるために必要な事例」を考える必要があることを確認する。 	
7 8		○文章と図表の関わりを捉え、図表の効果について考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・文章と図やグラフ、写真が文章とどのように結びついているかを考えながら読み、説得力を高めるための図表の使い方について考える。 ・新聞を観察し、どのような資料を用いて説明しているか、なぜその資料を使用しているかを考える。 	
9 10	【考えの形成】	○「町の幸福論」で筆者が述べていたことを基に、二戸市の課題を調べ、町の未来を考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「町の幸福論」において、(1) 町は多くの課題を抱えていること (2) 人のつながりのある豊かな町の未来をえがくこと (3) 住民が主体となることができることを考えることが示されていたことを振り返る。 ・広報や新聞、本やインターネットを使って二戸市の課題を調べ、解決したい課題を選択するとともに、どのような豊かな未来になってほしいかを考え、「〇〇な二戸」のように町の未来像を端的にまとめる。 (個人→チーム) ・筆者の事例の取り上げ方について理解したことを基に、自分たちのえがく未来につながるような事例を探す。(個人) 	[思考・判断・表現②] 「町づくり」に対する筆者の考え方や論の進め方を参考に、二戸市の町づくりについて考え、提案書にまとめているかを確認する。 (ワークシート)

1 1 本時	【考えの形成】 ○筆者の論の進め方について理解したことを基に、自分たちの主張に合った事例を選択し、提案書の構成を考慮することができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">NIEの視点②</div>	<ul style="list-style-type: none"> 各自選択した事例を、チームで共有しよう。 各自の話聞き、特に自分たちの主張の説得力を高めることができる事例を選択する。 各チームで話し合われたこと、決定した事例が選ばれた理由を全体で共有する。 	[思考・判断・表現②] 「町づくり」に対する筆者の考え方や論の進め方を参考に、二戸市の町づくりについての考え、提案書にまとめているかを確認する。 (ワークシート)
1 2 1 3 1 4	【考えの形成】 ○どのような取り組みをすることができるか考えることができる。 ○二戸市の町づくりについて、表現を工夫しながら提案書にまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 選択した事例を基に、えがいた未来像にするための具体的な案を考える。(チーム) これまでの学習を想起しながら、構成を工夫し、提案書を作成する。(個人→チーム) 図表やグラフの学習を振り返り、提案書に必要な資料はないかを考え、提案書に加える。 伝わる表現になっているかを検討する。 	[主体的に学習に取り組む態度] 説得力のある述べ方になっているかを検討しながら、二戸市の町づくりについて提案書にまとめようとしているかを確認する。 (ワークシート・観察)
1 5 1 6	【共有】 ○提案が相手に伝わりやすい話し方を考え、実践することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 提案書を発表する役割分担を考える。 役割分担に沿って練習をする。 自分たちの主張を提案(プレゼンテーション)する。 プレゼンテーションの内容について、構成や内容について感じたことを共有する。 	[思考・判断・表現③] 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、新しく気づいたことなどについて書いているかを確認する。(ワークシート)

8. 本時の指導

(1) 本時のねらい

文章を読んで理解したことを基づいて、自分の考えをまとめることができる。

(2) 本時の指導

段階	主な学習指導	○主な発問と指示 ・予想される児童の反応	指導上の留意点 ◇評価(評価規準)
導入 3分	1 これまでの学習を振り返る。 2 本時の学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○自分達の述べたいことに加えて事例を用いることでどのような効果がありますか。 ・事例は具体的なことだから、どんなことを言いたいのかのイメージがもてる。 ・伝えたいことの説得力が増す。 ○つまり、事例はどのようなものである必要がありますか。 ・伝えたいことに合ったもの。 ・伝えたいことを支えるもの。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第5・6時で学習した、事例を用いる効果と述べたいことと事例が合致しているかを確認することについて想起することで、事例を取り上げる目的と方法について共通理解を図る。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自分たちの考えた主張に説得力を持たせるための事例を検討し、決定しよう。</div>			
展開 3 7分	3 検討の際の視点を確認する。 4 チームで事例の検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○述べたいことと事例が合っているかどうかを確認するためには、何に気を付ける必要がありましたか。 ・述べたいことの内容を確認すること。 ・述べたいことのキーワードを見付けると、事例と照らし合わせやすい。 ○事例を比較してみて分かったことはありますか。 ・同じような取り組みの事例でも、伝わってくるメッセージが違う。 ・やっていることだけでなく、その結果どうなったかにも注目すると、自分たちの述べたいことに合ったメッセージの含まれた事例かどうか分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例を選択する際の具体的な方法を確認することで、どのように選択するのかの視点をもつことができるようにする。 ・事例の比較について分かったことを問うことで、事例で取り上げられている催し等の出来事だけでなく、その結果得られたものについて注目すると、述べたい

	<p>5 各チームで決定した事例を共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんの選んだ事例を組み合わせると、「人のつながり」がメッセージとして見えてくる。 ○話し合いで困ったことや発見したことはありますか。 ・やっていることだけでなく、その結果どうなったかにも注目すると、自分たちの述べたいことに合ったメッセージの含まれた事例かどうか分かる。 ○なぜその事例をチームで選びましたか。 ・今回、自分達が主張したかったことは、新しく物を作ったりして興味を引くことではなく、ずっとつながり続ける「人と人との関わり」を大切にしたいということだから合っている事例だと感じた。 	<p>ことにより合致したものとなっているかの判断ができることに気が付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い方や内容についての共有を促すことで、活動4において各チーム内で発見した学びを全体に広げる。
<p>終末5分</p>	<p>6 本時の振り返りを行う。</p>	<p>○ チームで話し合いをして考えたことや他の事例と比較して分かったこと、最終的に選択した事例とその理由について振り返りましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>はじめは、「新しい物を作って興味をもってもらう」事例を選んでいました。今日話し合いを通して、「人と人のつながり」を事例にするとより自分達の主張に沿ったメッセージを伝えることができると気がきました。</p> </div>	<p>◇ [思考・判断・表現]</p> <p>それぞれが選んだ事例を比較し、相違点を明らかにすることを通して、最も適切だと考える事例を選択し、その理由を書いたり話したりしている。 (ワークシート・観察)</p>

9. 板書計画

